



野志克仁松山市長(左)から寄付への感謝状を贈られた門屋齊さん

コロナ対策300万円寄付

松山市 門屋組会長に感謝状

松山市の新型コロナウイルス対策に役立ててもらおうと、同市の総合建設業・門屋組会長の門屋齊さん(89)が市に300万円を寄付し、12日に市役所で感謝状贈呈式があった。

門屋さんは自身の卒寿や、同社の創業111周年を機に、市がふるさと納税制度を活用して設けた「ふるさと松山ぎんえあいファンド」へ2月に寄付した。同ファンドへの寄付金は、新型コロナウイルス感染症対策(陽性者の健康観察・搬送、疫

学調査としてのPCR検査など)や経済的な影響を受けた学生への無利子の奨学金貸与、個人事業主や中小企業への無利子融資などの事業に充てられる。

贈呈式では、野志克仁市長が門屋さんに感謝状を手

渡し、「本当にありがたい。有効に活用させていたたく」と述べた。

式の後、門屋さんは「六十数年前に(24歳で)社長になってから、いろいろな方から協力をいただき、いつかはお返ししないと思っていた。コロナ対策に使って、市民の皆さんに喜んでいただければ」と話した。

市納税課によると、2020年5月に開設以降、同ファンドへの寄付金は2月末現在で6628件、計約1億2800万円。うち市内在住者からは44件、計約3380万円。

(花本和久)